2026年度 第7回（12月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

1　放送文

No.1

Father: Aya, what do we need for the party today?

Aya: Let's buy three cookies and two cakes, Dad.

Father: Two cakes? One is enough for five people.

Aya: You're right. Then just one cake. But three cookies are not enough for four friends. Let's get four.

Father: All right. One cake and four cookies.

Question: What will Aya and her father buy?

（訳）父：アヤ、今日のパーティーには何が必要かな。／アヤ：クッキーを3枚とケーキを2個買おうよ、お父さん。／父：ケーキ2個？5人なら1個で十分だよ。／アヤ：そうね。じゃあケーキは1個だけ。でもクッキーは3枚だと友だち4人には足りないわ。4枚にしましょう。／父：わかった。ケーキ1個とクッキー4枚だね。
質問：アヤと父は何を買いますか。

No.2

Tom: Mika, are you free this Sunday? Let's go shopping.

Mika: Sorry, Tom. I went shopping yesterday. This Sunday, I'm going to make dinner with my mother.

Tom: Oh, that sounds nice. What are you going to make?

Mika: We are going to make pizza!

Tom: Sounds great. Then I'll go to the pool and swim.

Question: What is Mika going to do this Sunday?

（訳）トム：ミカ、今度の日曜日はひま？買い物に行こうよ。／ミカ：ごめんね、トム。昨日買い物に行ったの。今度の日曜日は、お母さんと夕食を作るつもりよ。／トム：へえ、いいね。何を作るの？／ミカ：ピザを作るのよ！／トム：いいね。じゃあぼくはプールに行って泳ぐよ。
質問：ミカは今度の日曜日に何をするつもりですか。

No.3

Emi: The movie starts at two thirty today, Ken.

Ken: Let's meet at the station thirty minutes before it starts.

Emi: OK. Then I'll leave home at one forty. It takes twenty minutes to get to the station.

Ken: Good. See you there.

Question: What time will Emi and Ken meet at the station?

（訳）エミ：今日の映画は2時30分に始まるよ、ケン。／ケン：始まる30分前に駅で会おう。／エミ：わかった。じゃあ1時40分に家を出るね。駅まで20分かかるから。／ケン：いいね。そこで会おう。
質問：エミとケンは何時に駅で会いますか。

No.4

Mei has a piano contest tomorrow. She says to her friend Jack, "I'm afraid I'll make a mistake." Jack wants to encourage her.

Question: What will Jack say to Mei?

（訳）メイは明日ピアノのコンクールがあります。彼女は友だちのジャックに「まちがえそうでこわい」と言います。ジャックは彼女を励ましたいと思っています。
質問：ジャックはメイに何と言うでしょうか。

No.5

Ben and Sora are at school. It is lunch time, and the weather is very nice. Sora wants to eat lunch outside with Ben.

Question: What will Sora say to Ben?

（訳）ベンとソラは学校にいます。昼食の時間で、天気はとてもよいです。ソラはベンと外で昼食を食べたいと思っています。
質問：ソラはベンに何と言うでしょうか。

No.6

Hello, everyone. This is Mr. Brown. I have some news about the school concert. It was going to be on Wednesday, December 16, but many teachers have a meeting on that day. So the concert will be on Friday, December 18. It will start at one thirty in the gym. Each class will sing one song. After the concert, you can have tea and cookies with our guests from the city. Please bring your music notebook on the day. I hope you will enjoy singing together.

Question 1: When will the school concert be held?

Question 2: What will each class do at the concert?

Question 3: What should the students bring on the day?

（訳）みなさん、こんにちは。ブラウンです。学校のコンサートについてお知らせがあります。コンサートは12月16日の水曜日の予定でしたが、その日は多くの先生が会議に出ます。そのため、コンサートは12月18日の金曜日になります。体育館で1時30分に始まります。各クラスが1曲ずつ歌います。コンサートのあとには、市から来るお客さんとお茶とクッキーを楽しめます。当日は音楽のノートを持ってきてください。みんなでいっしょに歌うのを楽しんでくれることを願っています。

質問1：学校のコンサートはいつ開かれますか。

質問2：各クラスはコンサートで何をしますか。

質問3：生徒は当日何を持ってくるべきですか。

No.7

Chris: Haruka, are you going to join the river cleaning this Sunday?

Haruka: Yes. Our class has thirty students, but only fourteen students can come, because the others have club activities.

Chris: I see. Where will we meet?

Haruka: It starts at nine at the park near the river. It will take two hours.

Chris: What should I bring?

Haruka: Please bring gloves and a bag for trash. The city will give us water, so you don't need to bring a drink.

Chris: OK. I'm looking forward to it.

Question 1: How many students from Haruka's class will join the river cleaning?

Question 2: Where will Haruka and Chris meet?

Question 3: What does Haruka ask Chris to bring, besides a bag?

（訳）クリス：ハルカ、今度の日曜日の川のそうじに参加する？／ハルカ：ええ。わたしのクラスは30人だけど、ほかの人は部活動があるから、来られるのは14人だけなの。／クリス：そうなんだ。どこで会うの？／ハルカ：川の近くの公園で9時に始まるわ。2時間かかるの。／クリス：何を持っていけばいい？／ハルカ：手ぶくろとごみ用の袋を持ってきて。市が水をくれるから、飲み物は持ってこなくていいわ。／クリス：わかった。楽しみだな。

質問1：ハルカのクラスから何人が川のそうじに参加しますか。

質問2：ハルカとクリスはどこで会いますか。

質問3：ハルカは、袋のほかに何を持ってくるようクリスに頼んでいますか。

1　No.1（2点）

イ

答え: イ

・Aya は最初 "Three cookies and two cakes." と言うが、父に "One is enough."（1つで十分）と言われて **cake は1つ**に変える。

・さらに "three are not enough for four friends. Let's get **four.**" と言って、**cookie は4枚**にする。

・買うのは **クッキー4枚とケーキ1個**のイ。最初に聞こえた three や two にひっかからず、言い直しの最後まで聞く。

1　No.2（2点）

ウ

答え: ウ

・Mika は "I went shopping **yesterday.**"（昨日買い物に行った）ので、買い物（ア）には行かない。

・続けて "This Sunday, I'm going to **make dinner** with my mother. We are going to make pizza!" と言っている。**be going to ～** のあとの動詞を聞き取る。

・水泳（エ）をするのは Tom（"I'm going to swim at the pool"）。読書（イ）は話に出てこない。

1　No.3（2点）

イ

答え: イ

・映画は "two thirty"（2時30分）に始まる。Ken が "meet at the station **thirty minutes before** it starts" と言うので、2時30分の30分前＝**2時ちょうど**。

・ア（1時40分）は Emi が**家を出る**時刻（駅まで20分かかるので、1:40 ＋ 20分 ＝ 2:00 で確かめられる）。エ（2時30分）は映画が始まる時刻。

・"before" は「～の前に」。時刻を聞き取るときは、何の時刻か（始まる時刻・集合する時刻・出発する時刻）を区別する。

1　No.4（2点）

ウ

答え: ウ

・Mei は明日のピアノコンクールで "I'm afraid I'll make a mistake."（まちがえそうでこわい）と**不安**を話している。Jack はそれを**励ましたい**。

・不安な人を励ます決まり文句は **Don't worry.**（心配しないで）。You can do it! / Good luck. / Do your best. も同じ働き。

・アはお礼、イは悪い知らせを聞いたとき、エは物をわたすときの言葉。

1　No.5（2点）

イ

答え: イ

・天気がとてもよく、Sora は Ben と**外で昼食を食べたい**。相手を誘う言い方を選ぶ。

・**Why don't we ～?**（～しませんか）は提案・誘いの決まり文句。Let's ～. / How about ～ing? / Shall we ～? も同じ。

・ア・ウ・エは、誘う場面に合わない（昼食をもう食べた／病気の人への言葉／手伝いをたのむ言葉）。

1　No.6 (1)（3点）

ウ

答え: ウ

・"It was going to be on Wednesday, December 16, but ... So the concert will be on **Friday, December 18.**" と言っている。

・最初に言う Wednesday, December 16 は**もとの予定**（変更前）。変更後の日を聞き取る。曜日と日付は、組で聞き取る。

1　No.6 (2)（3点）

ア

答え: ア

・"**Each class will sing one song.**"（各クラスが1曲ずつ歌う）より。

・お茶とクッキーは、コンサートのあとにゲストといっしょに楽しむもの（ウは×）。

1　No.6 (3)（3点）

エ

答え: エ

・"Please bring your **music notebook** on the day." より。

・cookies は、コンサートのあとに出るもの。持ってくる物ではない。

1　No.7 (1)（3点）

fourteen

答え: fourteen

・Haruka は "Our class has thirty students, but only **fourteen** students can come" と言っている。thirty は**クラス全体の人数**なので答えではない。

・14 は **fourteen**（4 は four だが、14 は fourteen。40 の forty とつづりを区別する）。

・数は、何の数か（全体か、参加する人数か）を区別して聞き取る。

1　No.7 (2)（3点）

park

答え: park

・Haruka の "It starts at nine at the **park**." より。river（川）はそうじをする場所で、集合場所ではない。

1　No.7 (3)（3点）

gloves

答え: gloves

・Haruka の "Please bring **gloves** and a bag for trash." より。「手ぶくろ」は複数形 gloves（左右で1組）。

・飲み物（water）は市が用意するので持ってこなくてよい。

2　問1（3点）

eighteen

答え: eighteen

・日本語のメモ「わたしたちの部には**18人**の部員がいます」に対応。

・"We have (eighteen) members in our club." 18 は **eighteen**（つづりに注意：eight の t を落とさない）。

・13〜19 は -teen（thirteen, fourteen, fifteen ...）。20 以上の -ty（eighty など）と区別する。

・参考：8 eight／18 eighteen／80 eighty。

2　問2（A）（2点）

ウ（December）

答え: ウ (December)

・日本語のメモ「体験練習は**12月**3日（木）」に対応。12月は **December**。

・October は10月、November は11月、January は1月。語の最後が -ber の月は September（9月）から December まで4つ並ぶので、順番も覚えておく（9 September／10 October／11 November／12 December）。

2　問2（B）（2点）

イ（Thursday）

答え: イ (Thursday)

・日本語のメモ「12月3日（**木**）」に対応。木曜日は **Thursday**。

・Tuesday は火曜日。**T**uesday（火）と **T**hursday（木）は、つづりの2文字目（u と h）で見分ける。

・Saturday は土曜日、Sunday は日曜日。

2　問2（C）（2点）

イ（if）

答え: イ (if)

・日本語のメモ「**雨が降ったら**、体育館で練習します」に対応。「もし〜なら」は **if**。

・"We will practice in the gym (if) it rains." ＝「雨が降ったら体育館で練習します」。

・because は理由（「雨が降るので」）で、まだ起こるか分からない雨には合わない。but は「しかし」、so は「だから」で、文の意味がつながらない。

・if の節の中では、未来のことも現在形（it rains）で表す。

2　問2（D）（2点）

イ（most）

答え: イ (most)

・日本語のメモ「テニスは、わたしたちの学校で**いちばん**人気のあるスポーツです」に対応。「いちばん〜な」は**最上級**。

・popular のように長い語（3音節以上の語）の最上級は **the most 〜**。"Tennis is the (most) popular sport in our school." ＝「テニスは学校でいちばん人気のあるスポーツだ」。

・more は比較級（〜より人気のある）で、than とセットで使う。短い語は -est（tall → the tallest）。

・the の直後には mostly（ほとんど）は入らない。

2　問3（2点）

winter

答え: winter

・日本語のメモ「**冬**はとても寒いので、あたたかい上着を持ってきてください」に対応。

・"It is very cold in (winter)." 季節の名前：春 spring／夏 summer／秋 fall（autumn）／冬 **winter**。

・「季節」を表す語に付く前置詞は in（in winter＝冬に）。

2　問4（4点）

（解答例）Thank you for your reply. I'm very glad that you like tennis. I want to play tennis with you soon.

解答例: Thank you for your reply. I'm very glad that you like tennis. I want to play tennis with you soon.
訳: 返事をありがとう。あなたがテニスを好きだと知って、とてもうれしいです。近いうちにあなたといっしょにテニスをしたいです。
採点ポイント:
・語群（glad / play / soon）から1語以上使用
・1文目＝お礼（**Thank you for 〜.** の形が書きやすい。for のあとは名詞か動名詞）
・2文目以降＝Ben に会って、いっしょにテニスをすることについての自分の気持ち（I'm glad 〜. / I want to play 〜 with you. / I'm looking forward to 〜. など）
・全体で2文以上
・文法・スペルの正確さ

3　問1（3点）

B

答え: B
・補う文: **She also taught me how to breathe.**（彼女は息の吸い方も教えてくれました）
・She が指すのは女性の先輩 **Ms. Aoki**。Ms. Aoki が登場して話しかけ、Riku が「うれしかった」と言った**あと**の B に入れると、「アドバイスのほかに、息の吸い方も教えてくれた」とつながり、直後の「3か月後には音がずっとよくなった」にも流れる。
・A の前には Ms. Aoki がまだ出てこないので、She が誰か分からない。C の前の she は手紙をくれた女の子（a little girl）で、息の吸い方を教えた人ではない。

3　問2（4点）

2番目=エ（the）・4番目=ア（is）

答え: 2番目 = エ (the), 4番目 = ア (is)
・正しい語順: **playing the trumpet is fun** → "Now, **playing the trumpet is fun** for me."
・1: playing (ウ) / 2: the (エ) / 3: trumpet (イ) / 4: is (ア) / 5: fun (オ)
・**動名詞（〜ing）**は「〜すること」という意味の名詞のはたらきをして、**文の主語**になれる。Playing the trumpet が主語（まとまり）で、is が動詞、fun が補語。
・play the trumpet（トランペットを演奏する）に -ing をつけて、まとまりごと主語にしている。
・**訳:** 今では、トランペットを吹くことはわたしにとって楽しいことです。

3　問3（3点）

イ（wrote）

答え: イ (wrote)
・"After the concert, a little girl (wrote) me a letter."
・After the concert（コンサートのあとで）は**過去**のできごと。write の過去形は **wrote**（不規則動詞：write − wrote − written）。
・written は過去分詞なので、have や be動詞がないと使えない。writing も be動詞が必要。write（原形）は主語が a little girl（3人称単数）の現在なら writes になり、時も合わない。
・**write 人 物**＝「人に物を書く（送る）」。

3　問4（4点）

better

答え: better

・本文の "After three months, my sound was much **better** than before." に対応（「音が前よりずっとよくなった」＝「前よりじょうずに吹けるようになった」）。

・「〜より…」と言うときは**比較級 ＋ than**。well（じょうずに）の比較級は **better**（不規則変化：good / well – better – best）。

・well に -er をつけた wellller という形はない。

・参考：fast – faster（ふつうの変化）／popular – more popular（長い語は more を前に置く）。

3　問5（4点）

イ

答え: イ

・第3段落 "In August, we had a concert at the city hall." と一致。

・ア: "I couldn't make a good sound at first." なので不一致。

・ウ: Ms. Aoki は "**Practice** is more important than **talent**." と言った（練習のほうが才能より大切）。逆になっている。

・エ: 手紙をくれたのは Ms. Aoki ではなく **a little girl**。

4　問1（4点）

（カナダの町では）多くの人が自分の水筒を持ってきて、それを何度も使うこと。

答え例: 「（カナダの町では）多くの人が自分の水筒を持ってきて、何度も使うこと。」

・下線部①の That は、直前の Lucas の発言 "In my town in Canada, many people bring their own bottles." の**内容**を指す（その前の "I use it again and again." も合わせて、「自分の水筒を持ってきて何度も使うこと」）。

・**採点ポイント**: 「自分の水筒（ボトル）を持ってくる」「何度も使う」の2要素。

・That is good for the earth.＝「それは地球によいことだ」。

4　問2（4点）

2番目=エ（bring）・4番目=オ（own）

答え: 2番目 = エ (bring), 4番目 = オ (own)

・正しい語順: **should bring our own bags** → "For example, we **should bring our own bags** to the store."

・1: should (ア) / 2: bring (エ) / 3: ウ our / 4: own (オ) / 5: bags (イ)

・**助動詞 should**（〜すべきだ、〜したほうがよい）のあとは**動詞の原形**（bring）。we should bring 〜 の順になる。

・"our own 〜"＝「自分たち自身の〜」。own は our の後ろ、名詞（bags）の前に置く。

・**訳**: たとえば、わたしたちは店に自分のふくろを持っていくべきです。

4　問3（3点）

ウ

答え: ウ

・1 の Lucas の発言 "It's just my own water bottle. I use it **again and again**." と一致。

・ア: Jun は "I always **buy** a plastic bottle at the store." と言っている。

・イ: Emi は浜辺で "a lot of plastic bags and bottles" を見つけた。

・エ: Emi は "We **can't** stop it today" と言っている。

4　問4（3点）

ア（will）

答え: ア (will)

・"Next Monday, our class (will) start it."＝「来週の月曜日に、わたしたちのクラスはそれを始めます」。

・**Next Monday**（来週の月曜日）は未来を表す語句。未来のことは **will＋動詞の原形**（または be going to＋動詞の原形）で表す。

・イ is going は、あとに to がないので動詞の原形 start を続けられない。ウ going to は be動詞（is）がない。エ did は過去の形で、Next Monday と合わない。

4　問5（4点）

wish

答え: wish

・"I (wish) we could stop plastic waste in the sea."＝「わたしたちが海のプラスチックごみをなくせたらいいのに」。

・**I wish ＋ 主語 ＋ could ～**（過去形の助動詞）は、「～できたらいいのに」と、**実現しにくいことへの願い**を表す言い方（仮定法）。ここでは、ごみを今日すぐになくすことはできない、という気持ち。

・wish は「願う」という意味の動詞。hope は「実現するかもしれないこと」を望むときに使い、後ろに could は続けない。

・直後の Emi の "We can't stop it today" とも合う。

4　問6（3点）

ウ

答え: ウ

・直後に Jun が "Sure. We'll send the clothes to children who need them." と、プロジェクトの**くわしい内容**を説明している。Lucas は、リサイクルプロジェクトについて、もっと知りたいと思っている。

・**Could you tell me more about it?**（それについて、もっとくわしく教えてもらえますか）は、くわしい説明をたのむ決まった言い方。答えの Sure.（いいよ）ともつながる。

・アは感想・様子、イは入手先、エは時刻をたずねる文で、答えに合わない。

4　問7（4点）

（解答例）I use my own bag when I go shopping. I want to use it every day because it helps the earth.

解答例: I use my own bag when I go shopping. I want to use it every day because it helps the earth.
訳: わたしは買い物に行くとき、自分のふくろを使っています。地球の役に立つので、毎日使いたいです。
採点ポイント:
・1文目が I で始まり、家でごみを減らすためにしていること、またはこれからしたいこと（I use 〜. / I want to 〜. / I'm going to 〜. など）が書かれている
・2文目に、そのことについての気持ちや具体的な内容（理由・方法・回数など）が書かれている
・全体で2文
・文法・スペルの正確さ（日本語の語は shamoji など、ローマ字で書いてよい）

5　問1（3点）

ウ

答え: ウ
・第1段落 "I came to Japan from Germany in April, and I have lived here for seven months." と一致。
・ア: Anna は**ドイツから日本に来た**。
・イ: "In Germany, students **don't** clean their classrooms." なので不一致。
・エ: "I was **surprised** at school lunch." と言っている。

5　問2（3点）

イ

答え: イ
・第3段落 "Last month, my host mother took me to a hot spring." と一致。
・ア: 最初ははずかしかったが、"the water was warm, and I felt very relaxed" とあり、入浴している。
・ウ: host mother は日本で Anna を受け入れている家の母親で、ドイツ出身とは書かれていない。
・エ: "hot springs are loved by **many** people in Japan" なので不一致。

5　問3（6点）

（解答例）① I think it is a good idea. ② We use our classrooms every day, so we should keep them clean. Also, cleaning together helps us make friends, and we can learn to work as a team.

解答例: ① I think it is a good idea. ② We use our classrooms every day, so we should keep them clean. Also, cleaning together helps us make friends, and we can learn to work as a team.
訳: ① わたしはそれはよい考えだと思います。② わたしたちは毎日教室を使うので、きれいにしておくべきです。また、いっしょにそうじをすることで友だちができるし、チームで協力することを学べます。
採点ポイント:
・①は I think 〜. の形で、賛成・反対など自分の考えが書かれている（反対の考えでもよい）
・②は、その考えの具体的な理由が2文以上（We should 〜. / 〜 because 〜. / Also, 〜. など）
・全体で3文以上
・文法・スペルの正確さ